

導入科目 モチーフワーク Motif Work

担当：吉田茂樹、小林昌廣、伊村靖子、前林明次、桑久保亮太、James Gibson、松井茂

単位：2単位 履修対象：1年

教室：ホールA・B (C404・C405)、ギャラリー 1・2 (C311・C312)

学期：前期 (4・5月)

科目のねらい・特色

モチーフワークは前半と後半、2つのパートから構成されます。前半では約1週間の期間を通じて、教員と学生それぞれのプレゼンテーションと、グループでのディスカッション、フィールドワークを通じて、IAMAS を構成するメンバーとして相互の理解を深めていきます。プレゼンテーションでは、多様なバックグラウンドを持つ参加者各自の視点を具現化していきます。グループでのディスカッションでは、メンバーを随時組み換え、様々な関連性の中から各自のメディア表現のありかたを探求します。フィールドワークでは、学外に出かけ、地域に対する理解を深めるとともに、その活用の可能性を探ります。

後半では、制作や活動の成果を種々の状況において適切な形や方法で他者に伝えるために、整理分析し、編集し、伝達するための表現を工夫することを試みます。その際多様なバックグラウンドを持つ学生によるグループワークを行い、それぞれの状況に応じた様々な視点から考察を深めることで更なる可能性を探ります。

到達目標

IAMAS の多様な学生や教員がそれぞれどのような観点や目的を持って活動を行っているかを知り、今後のプロジェクト活動や自らの研究活動の幅を広げる一助となるようにします。また、成果物や活動内容を伝える際に、同じものであっても状況に応じて適切や形や方法があることを知ったうえで、新しい形の伝達の提案ができるようにします。

講義形態

プレゼンテーション、ディスカッション、フィールドワーク、グループワーク

講義計画・項目

個人、あるいはグループごとにフィールドワークや調査、議論を行います。最終的な成果としてプレゼンテーションまたはレポート提出を行います。

課題説明

- ・教員と学生によるプレゼンテーション (前半)
- ・グループによるディスカッション (前半)
- ・フィールドワーク (前半)
- ・テーマ設定 (後半)
- ・グループワークによるディスカッション (後半)
- ・プレゼンテーション (後半)

教科書・参考書等

必要に応じて授業で紹介します。

評価方法

種別	割合	備考
課題	20%	発表内容やレポート等の提出物の内容
日常点	80%	出席および授業参加の姿勢

導入科目 情報学基礎 Information Studies Foundation

担当：小林孝浩・安藤泰彦・山田晃嗣

単位：2単位 履修対象：1年 教室：ホールA (C404) 他

学期：前期 (4～6月)

科目のねらい・特色

情報技術は、現在激しく進化しつつあるあらゆる技術・サービスの根幹に位置し、その役割は重要性を増しながらも急速に一般・無意識化しています。この科目では、そのような情報技術を俯瞰し、その重要性を再認識しつつ、手の届くところに引き寄せることを目的とします。技術を学ぶだけではなく技術がどのように使われるか/使いたいかを意識できるよう、具体的なテーマに基づいた実習形式で、企画の提案からその具体化までをひととおり体験してみます。昨年度 (2017年度) は市内の幼稚園児を対象とし、「遊び」をテーマにセンサ等の使用方法について考えました。技術をただ習得するに留まらず、相手をよく知り相手の立場になって提案を行うこと、観察を通じて提案を見直すことまでを射程としました。

到達目標

今後の研究・制作に必要なプログラミングやセンサーなどのデバイスの基本を習得する。特に、対象となる人や場所などの具体的な場面や文脈を想定し、それが与える意味や影響力などを常に頭に置くとともに、現場におけるフィードバックを重視するという、プログラムやデバイス開発の基本的態度を身につける。

講義形態

演習、レポート等

講義計画・項目

- ・プログラミングの基本的な考え方
- ・開発環境について
- ・企画立案
- ・企画についてのフィールドワーク
- ・企画に基づいた開発、フィードバック
- ・まとめ

教科書・参考書等

必要に応じて随時配付、指定します。

評価方法

種別	割合	備考
課題	50%	課題への取り組みを評価します。
日常点	50%	理解度が基準点に達することが要件です。

導入科目 メディア表現基礎 Expression in Media Foundation

担当：赤羽亨・桑久保亮太

単位：2 単位 履修対象：1 年 教室：ギャラリー1 (C311) 他

学期：前期 (4 月)

科目のねらい・特色

この授業では、映像インスタレーション作品を制作するグループワークを通して、「構想」、「制作」、「展示公開」という作品制作にまつわる一連のプロセスを体験的に学びます。これによって、このプロセスの各段階において必要となる基礎的技術と考え方を学ぶとともに、プロセス全体を統合的に捉える視点を得ることを目指しています。数多くの実践に携わる講師の指導のもと、展示の裏側や展示空間のとらえ方、また設営に関する技法や技術的側面など、メディア表現の基礎となる技術と知識について演習形式で集中的に学びます。授業の最終では展示作品に関するプレゼンテーション及び講評会を開き、他グループとの知識共有や、様々なフィードバックを得る機会を設けます。

到達目標

演習を通して、プロジェクターの設置方法や投影方法などの映像インスタレーション作品設置に必要な、基礎的な技術を習得する。グループワークでの作品制作を通して、「構想」、「制作」、「展示公開」という実際の作品制作のプロセスを体験的に理解し、各段階で必要となる基礎的な知識や技術を習得する。レポート課題を通して、この授業での経験を内省的に振り返り、体系的にまとめることを促し、今後の作品制作に活かすことができる知識として文章化して共有する。

講義形態

演習

講義計画・項目 (予定)

1日目 (1コマ)	導入 課題説明
(2-4コマ)	プロジェクター設置演習
2日目 (5-7コマ)	プロジェクターによる実験、アイデアスケッチ
(8コマ)	プラン発表
3日目 (9-12コマ)	課題制作展示
4日目 (13コマ)	課題制作展示
(14-15コマ)	講評

評価方法

種別	割合	備考
課題	40%	課題への取り組み
日常点	40%	積極性 協働性
レポート	20%	